

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動内容や児童の特性・相性に合わせて、部屋を分けている。またコロナ対策として、学校ごとに部屋を分けるなど工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		国の人員配置基準はクリアしているが、一人一人の児童に対し、より充実した個別療育の時間を設けられるような職員配置ができるようにしていきたいと考えている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		建物の構造上、完全なバリアフリー化は難しいが、出入口に手すりの設置をおこなっている。今後は、玄関の段差などにはスロープを設置するなど改善を検討している。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		朝礼時や児童退所後に、職員間で共有する時間を持ち、月1回は全職員で個別支援計画による療育支援を進めていくための支援会議を開き協議している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		保護者からの希望にできる限り対応できるよう、職員間で協議し、改善できる部分については対応している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		今年度からの新規事業所のため、ホームページにて初めて公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	福祉サービス第三者評価による評価は受けていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員会議で児童を支援していくうえでの課題点や検討事項等の確認、OJTの実施や雇用形態を問わず全職員に対して社内外研修に参加する機会を設けるなど、職員が自己研鑽しやすい環境を整えている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用時の見学等も含めて、保護者と話し合う機会を設けたり、日々の行動観察を記録し、職員間で検討しながら作成するようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントツールを使用している。いろいろな文献等を参考にしながら、アセスメントするように心がけている。また必要に応じて発達支援センターなど外部機関の協力も得ている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動内容や支援方法など週1回の支援ミーティングや月1回の支援会議等を通じて話し合い、共通の目標を持って児童への対応を行うよう心がけている。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		運動活動、音楽活動、自立課題、外出活動などいろいろな活動を提案し、組み合わせることで、同じ活動が続かないように工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		利用時間や児童の成長のペースに合わせて、個別や集団療育の機会を設けたり、外出や季節の行事・工作、児童の興味に合わせるなど工夫している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		児童の状況に応じて、個別活動の時間、集団活動の時間をそれぞれ設定し、本人のペースに合わせて無理のない範囲で行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼等に活動予定表を職員間で確認し、支援の内容等について周知及び確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		翌朝のミーティング、送迎の帰りや記録入力の時間などに行っている。なお、職員の勤務形態により難しい場合には議事録等で情報共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		児童の様子など気がかりな点等について、記録システムに入力したり、朝のミーティング等にて確認したりしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		モニタリングを行い、必要があれば計画を変更している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		利用時間や児童の体調等に合わせて複数組み合わせるようにしている。
関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		会議内容に合わせて、児発管や管理者、担当職員を出席させている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校の行事や下校時間等の確認、送迎等の対応に伴う学校との連絡や情報共有を定期的に行っている。また、サービス利用時の児童の入退室の連絡を希望される保護者にはメールにてお知らせしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在、該当する児童はいないが、受け入れる場合には、保護者等と相談しながら医療機関との連絡体制を整えることについて検討していきたいと考えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保護者や相談支援事業所等へ確認し、必要に応じて情報共有を行っていききたいと考えている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	現在、該当する児童はいないが、移行する場合には、相談支援事業所や保護者等と相談しながら提供していきたいと考えている。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童の状況に応じて、その都度、専門機関から助言等をいただきながら支援している。	

との連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	療育時間が限られていることやコロナ禍により交流する機会を設けることはできていないが、今後はできる限り、交流する機会を設けられるよう検討していきたいと考えている。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			療育支援部会など関連する協議会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			システム (HUG) を利用し、活動内容について、写真等を用いるなど利用日ごとに毎回発信している。また、送迎などの際に、保護者等とのコミュニケーションを通して、児童の状況等に関する共通理解を図ることができる。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	現在、コロナ禍もあり、保護者向けのプログラムは実施していないが、保護者から相談のあった場合には、その都度、対応方法などについて話し合う機会を設けている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を実施したり、不明な点については随時、説明するようにしている。また支援内容については保護者と話す機会やシステム等で連絡している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			電話や送迎時など保護者から相談のあった場合には、その都度対応したり、必要に応じて相談日を設けるなどしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、保護者会等は設置していないが、保護者も含めて活動に参加する機会を設けている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか			○	利用契約時に苦情受付についての説明等を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			行事に合わせてチラシを作成・配布したり、システム (HUG) を通してその都度、情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に記載された書類等については、鍵付きのキャビネットに保管するなど、取り扱いには十分注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			児童や保護者に合わせて、イラスト等を使って、わかりやすく説明するよう工夫したり、理解してもらえたかなど確認しながら意思の疎通を図っている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			コロナ禍により制限のある中で、行事に合わせて地域住民に参加してもらう機会を設けている。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	各マニュアルについては、施設内に設置しており、いつでも閲覧できるようになっている。職員には研修時に周知している。保護者にはシステム等を利用し、周知していくことを検討している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	非常災害の発生に備え、市の出前講座などを利用し、月1回、避難訓練等を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	虐待に対する正しい知識を得て、児童と関わりをもてるよう、虐待防止に関する研修への参加や話し合う機会を設けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	現在、対象の児童はいないが、身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員の共通認識としている。また、保護者等へは契約書等に記載し説明したうえで、同意を得るようにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	現在、該当する児童はいないが、受け入れる場合には、医師の指示書に基づき、保護者等と相談しながら整えていきたいと考えている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有している。	